

車座トーク（自治会と市長との意見交換会）開催報告

対象地域：東町自治会

開催場所：東町公会堂（ひなた）

開催日時：平成 28 年 8 月 31 日（水）19 時 00 分～21 時 08 分

参加者：自治会側【地域住民の方 25 人】

市側【染谷市長、牛尾理事、今村こども未来部長、北川産業観光部長、畑教育部長、三浦秘書課長、秋山協働推進課長、駒形戦略推進課係長、田原六合公民館長】

内 容

① 櫻井自治会長あいさつ

- ・本日は、自治会役員をはじめ、地域の代表である地区社協、老人会、女性部、民生児童委員や農業委員の皆様も御出席いただき、市長との意見交換に参加してもらっている。
- ・東町は 31 番目と聞いており、ほぼ半ばに実施される。
- ・市長のお話を聞いて皆さんとの意見交換をお願いしたい。

② 市長からの市政報告

■はじめに

- ・この車座トークは、68 の全部の自治会をまわるということで、最初の 2 年間は「語る会」ということで呼んでいただいたところに伺っていたが、呼んでいただけない自治会もあり、全部限なくまわるという事は難しかった。
- ・また、今年、来年の 2 年をかけて次の総合計画（H30～37）の策定の作業を行っているが、各地域の課題や特色、さらにはどのような取り組みをしているのかを確認して、それを市政に反映したいということでもまわっている。

■東町の人口、世帯について

- ・経済力、人材、組織力、がある自治会。この公会堂（ひなた）が六合公民館と同じように機能しているとお聞きしている。
- ・東町の 7 月 31 日現在の世帯数は 2,348 世帯、人口は 6,625 人で、高齢者人口は 1,361 人、高齢化率は 20.5%となっている。市の平均が 29.4%なので、若い方が多い。15 歳以下の人口は 1,180 人で人口に占める割合は 17.8%となっている。市の平均は 13.8%なので子どもの数が多い賑わいのある地域である。子育て世帯が多い地域で、六合地区の特性がよく現れているし、勢いのあるまちだと思っている。

■行政（政治）の役割が変わってきていることについて

- ・島田が今、一番課題だとしていることは人口減少。少子高齢化に歯止めがかからない状況は待ったなしの対策が求められている。
- ・地方に人口を増やし、地域の活力を取り戻すため、島田市でも地方創生に取り組んでいる。昨年度は、「島田市まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」を策定しており、今後様々な施策を講じる必要がある。
- ・子どもの数が減っているのは1975年からで、40年を経過している。
- ・子どもを産める年代の絶対数が減ってきた。合計特殊出生率（一人の女性が一生に産む子供の平均数）が増えても、産むことの出来る女性の絶対数が減っていきいているので、子供の数が急激に増えるということは難しい。
- ・島田市では、結婚している方々は平均で子供を2人以上産んでいる。県内でもトップクラス。子育てしやすい、子育てのために選ばれるまちだと思っている。一方で、結婚しない人（未婚）、晩婚化が待ったなしで、生涯未婚率の全国平均が男性で25%、女性で12.5%と増えている現状。
- ・私が市長になって2年目のときに、消滅可能性都市という増田レポートが出て、今までは地方分権とかいわれていたのが現在の地方創生の話に変わってきている。
- ・2025年には団塊の世代が全て後期高齢者になり、高齢化も2025年から30年にかけて高齢化率がピークを迎えるといわれている中で、2030年には人口が激減していくと予測されている。
- ・今日より明日は良くなるという時代から先行きが不安な時代になったとき、暮らし方が変わっていると思う。
- ・年金を10万円もらっても5万円を貯金してしまう時代。先行きに不安を感じている証拠。
- ・行政も税収が減っていく中で、事業展開が難しくなっている。特に次世代に借金を残して、次世代の皆さんがやりたいことができない都市は魅力がないといえる。
- ・10年先の島田のために今何を選択するのかを考えていかなければならない。
- ・9月に市政羅針盤を出すのが、公共施設の在り方の記事を書いた。島田市の公共建築物は663棟、276施設となっており多くの施設を抱えている。昭和50年代には、プラザ「おおり」や小中学校など一挙に建設されている。このため、経年劣化が進んでおり、今後、どのように長寿命化や再編・統合し、建替えや維持管理費を抑制していけばよいか課題となっている。
- ・老朽化がいつ頃にやってくる。税収が減って、扶助費にお金がかかるときに、今後、40年間に2,515億円の維持管理費が必要となる。年間に63億円の計算になる。現在の維持管理費は、年間で36億円、63億円と比較すると1.7倍近くなる。
- ・島田市の道路延長は1,180km、橋は1,154橋で、5年に一度の点検が法律で決められている。すでに、新しいものを造るよりは維持（長寿命化）していくことがメインとなっている。新たな道路をつくるよりも長寿命化する時代となっている。
- ・今まで言われていなかった事項がクローズアップされてきている。

- ・これまでは、行政に要望してお任せしていればよかったが、これからはお任せばかりしていく時代ではない。自分たちの手で自分たちの街をつくっていく。今は行政だけをあてにしている、まちづくりはできない時代になっている。地域と行政が一緒になって地域づくりをしていかなければならない。
- ・道悦島自治会では、地区社協の「生活支援サービス」事業を実施する予定。日常のサポート（軽微な作業（電球交換や日曜大工等））を受ける場合は1時間500円で利用出来る。湯日では、地元の人たちが自分たちで放課後に子供たちの面倒を見ているところもある。また、山間部では、市が車と保険とガソリンを負担し、地元では運転手をやっていただける人をカバーしてもらい、高齢者の買い物支援などに役立つ取り組みを始めたところもある。
- ・地域の方たちとどういう風にパートナーシップをつくっていくかが必要。そういうことを強化するために、公民館長（田原）を今年度から置いている。
- ・地域の拠点に地域と行政が連携するためのつなぎ役として係長を配置した。六合公民館は、六合地域の生涯学習の場や自治会活動、コミュニティ活動の拠点であると思っているが、これからは市役所機能を持たせた出先機関として、皆さんが相談しやすいように、又より地域と行政の間を縮めていっしょにまちづくりをするために配置しているのでご理解いただきたい。
- ・地域課題を解決するためには、正規職員と一緒に地域に入り込んで解決していくために公民館長を配置した目的である。

■六合地域の基盤整備等について

- ・東町御請線については、今年度が整備の最終年度となっている。31億円の事業費であるが、六合地域の幹線道路として選択と集中という観点で実施している。今年度8億8,400万円の事業費を措置している。六合地域から東や西、初倉方面にも大変便利な道路が完成する。渋滞緩和の効果が見込まれる。
- ・木屋島公園も整備する。この周辺には公園が少なく、子どもの遊び場も不足していることから整備する。
- ・公園が全面公園として使用できるよう、調整池を地下式にするために9月補正予算で対応する。かまどベンチや照明灯（ソーラータイプ）など、設備は防災拠点としても使えるような機能を備えたものにしたい。
- ・街路樹は高木や落葉樹はやめてほしいと伺っているので低木（ツツジやサツキ等）を植えて緑化に努めたい。さくら橋には側道橋を設けたい。来年の3月の完成を目指す。
- ・東町御請線にアクセスする生活道路は、一部は29年度にずれ込む可能性がある。
- ・六合駅南口の整備を進めていきたい。今年度はトイレの改修事業を実施する。8月に設計業務委託が完了したところ。9月に建築確認申請等の事務手続き、入札などを経て12月の完成を目指している。
- ・そのほかにもロータリーの改修や雨よけのシェルター、花壇の整備など駅前広場の改修について、次期総合計画に位置づけてその計画の中で実施していきたい。
- ・東町御請線の後には、道悦旭町線（静岡市消防局島田消防署六合出張所前）の歩道について整備を検討している。
- ・国も年間に1兆円ずつ医療費が増えている。
- ・国の社会資本整備総合交付金も要望額の52%の配分であった。国の公共事業の補助金総額も平成12年頃には年間16兆円であったが昨年度は5兆円程度

となっている。

- ・事業をやりたくても予算がつかないので、予定より少しずつ遅れての整備となっている状況を御理解願いたい。
- ・六合地区は子どもの数が増えているため、六合東小の教室の増設も考えなければとなるかもしれない。
- ・島田市は若い人にも住みやすいまちとなるよう、平成 29 年度に待機児童ゼロを目指していく。現状では、3 歳以上の待機児童は出ていない。待機児童は、0、1、2 歳となっている。これは、児童 3 人に 1 人の保育士が必要で、保育士の確保等の課題もあってこのような現状にある。こうした中、六合地域にも新たな保育所を整備したいと考えており、六合公民館西側の、旧コミュニティセンターの跡地（現駐車場）を考えている。市は土地を提供して、民間に保育園を建て経営をしてもらう予定。現状では、通学路に面していること、お墓が近接していること、都市計画道路などの課題があり地元の皆様と協議をさせていただいている。今後、いただいた課題などの対応方法などを説明したいと考えている。
- ・六合にすれば保育園に入れると言う魅力的な地域としていきたい。
- ・放課後児童クラブの整備も待ったなしの状況である。あらゆる施設にクラブの開設のお話をさせていただいて待機児童の解消を目指している。もう一つ、指導員の不足がある。毎日出なくても良いし年齢も問わないので是非、子育て応援課に連絡をして欲しい。時給は 900 円。
- ・子どもに昔の遊びを教えていただくことでもいいので、島田の子育て環境の充実に御支援をいただきたい。

■新病院の建設について

- ・今年基本設計をつくっている。1 2 月末になれば概ねの施設の状況、建設費用などを皆さんにお示し出来るようになる。
- ・造る場所は、今の病院の東側の駐車場の場所で、道を付け替えたりする。あの土地だと三角形の建物になってしまうのではないかと思われるかもしれないが、今のところは T 字型のような形になる予定としているが、使いやすい形にしていきたい。
- ・床面積は 35,000 m²、7～8 階建て、屋上にはヘリポートを設置して、ドクターヘリの患者に対する医療行為を効率的に行えるようにしていきたい。
- ・医療機器に約 50 億円で、医療機器を含む総事業費約 247 億円を見込んでいる。
- ・医師の確保も努めていきたい。
- ・液状化の可能性はない。粘土質であるが岩盤までの距離はある。土壌改良と岩盤までくいを打つことで建設には支障がないとの設計業者の話を受けている。
- ・検診センター、救急棟は残す。救急棟は透析センターとしていきたい。
- ・島田は市民病院しか入院する病院がないが、市民病院は機能が充実した拠点病院であるため、民間の病院が進出してこなかったともいえる。この拠点病院としての機能を残していきたい。

- ・国は医療費抑制のため、2025年を目途に医療制度改革を行う方針で、施設から在宅へという流れを考えている。島田はこれに対応するため、この4月から24時間訪問看護ステーションをはじめている。8人の医療行為の出来るナースを配置している。もし、夜中に具合が悪くなっても、かかりつけの医師の指示書があれば、ナースが指示書に従って医療行為ができるというもの。安心して在宅で医療が受けられる。
- ・往診する開業医の高齢化も進んでいることへの対応についても24時間訪問看護ステーションの取り組みの一つ。
- ・保険は1割負担の方は1割負担となる。

③質疑応答

番号	質問内容	回答内容
1-1	■東町御請線の整備した場所で、道路の側面、水路の田んぼ側（道路側溝と田んぼの間）に凹凸があり、草が生え放題で、市役所の方が一生懸命やってもらって解決しているが何とかならないか。	●質問に対して回答なし【検討事項1】
1-2	■市道や県道との交差点に信号機の設置の要望をしているが、すぐには難しいと言われた。また、暗いところが多いので、街路灯を設置したいと思っているが、農作物への影響からつける場所を考慮して欲しいと地元の方から言われている。	●警察も予算がなく、新しい信号機の新設要望についても、たくさんいただいているが、去年は2箇所しか設置されなかった状況。それでも欲しいとなると、あまり使われていない手押し式信号機を移設するという話を聞いてびっくりした。その位予算が厳しい状況だが、警察からは繰り返し要望してもらえれば順番で設置していきたいと聞いている。 街路灯は等間隔で付けていくことで担当（市街地整備課）と話をお願いしたい。 (補足説明) 東町御請線の街路灯につきましては、基本的に交差点部に設置していきたいと考えております。農作物への影響を考慮し設置する照明器具の検討を行ってまいります。
1-3	■県道との交差点には、可能な限り右折帯を設置してほしい。	●JA大井川六合支店前の交差点（道悦島東交差点）も市道から南進する場合の右折帯がなく、設置の要望もいただいているが実現出来ていない状態。こちら継続して要望していただきたい。 (補足説明) 東町御請線と県道島田大井川線との交差点には右折帯が設置される予定

		(市街地整備課へ確認済)
1-4	<p>■道路沿線の農振除外が出来ないか。良い道路を作っていただいても、通過道路にしかならない。まちづくりや賑わいとかに寄与しない。新東名島田金谷 IC (インターチェンジ) 周辺と同じように取り組んで欲しい。</p>	<p>●農家でない方が9割だと言う話を前回も伺っている。農業が良かった時期に国にお願いして受益地として基盤整備をしてきた。</p> <p>現在、農業振興地域で青地を白地に変えることは大変困難であることは皆さんご承知のことと思う。最近では、農業を行っている方の高齢化や後継者がいないことで耕作放棄地が増えており、白地に変えられるものなら白地にして、子供たちの家を建てることや他へ売りたいと思っている方が大勢おられる状況。しかし、昔の時代に土地に農振をかけるために国費等を投入して、水路や道路などの基盤整備を実施し農業の振興をしてきた。そこへ、今度は後継者不足でとって白地にしたいといっても、中々出来ないのが現実。特に大井川土地改良区のエリアでは、直ぐにお金を返しても8年間では変えられないといった所もあるのが事実。</p> <p>そうはいつでも、優良農地と傾斜地の畑では違うとは思いますが、やはり優良農地は優良農地としてしっかりと残し、白地に戻す所は戻すといったことも方針の一つだと思う。</p> <p>しかしながら、そのようなことを無秩序に進めてしまうと今度は農業が崩壊してしまう恐れから、国も優良農地を守ることも大事な仕事であるといつて法律を変える考えを持っていないのが現状。</p> <p>従って、農業振興地域の青地農地につきましては、個人では自由に転用することができない。周辺に宅地が出来て農地が囲まれてしまい、一団でない農地であるという証明がないと難しいと思われる。</p> <p>今年は5年に一度の定期除外の年で、新東名島田金谷 IC 周辺の除外に向け取り組んでいるが、農業振興地域もいったん除外されても、5年手付かずであると青地に戻ってしまう。</p> <p>東町は白地が多かったからここまで発展していると思う。</p>

		<p>島田は農振をかけた時期には潤った。藤枝は水が無く受益地としてなかったことで、現在開発されやすくなっているが、時代のめぐり合わせである。</p> <p>5年に1度が定期除外の年で、今年も定期除外の年であり、それ以外の年が個別案件の年であるので、個別で農業委員会に御相談いただきたいと思う。</p>
2-1	<p>■地区社協はボランティアの皆さんに支えられて実施している。ふれあいサロンなど 20 年継続して実施している。他の地区もそうだと思うけれど、ボランティアが高齢者となり持続が難しくなっている。</p> <p>道悦島の生活支援事業などを含めて、行政がボランティアを募ることや取り組みの方策など、小地域福祉活動のことを提示していただければありがたい。是非、情報提供をお願いしたい。</p>	<p>●ボランティアの皆さんの高齢化は、私もこれからの課題だと思っている。そのような中で新しい人材を育成する、ボランティア活動や地域活動に関心を持ってもらえるような講座（セミナーなど）を行政もこれまで実施してきているが、これからも更に工夫するなどの仕掛けが必要だと思っているのでこれから検討していく。</p> <p>高齢者の皆さんの生きがい就労が大事であると思っている。家に引きこもらないで、生きがいのために社会奉仕をすることで、地域も変わってくると思う。それが仕組みになって、500 円でも収入になるとか、自分のスキルや得意分野を地域に還元すると共に、長寿に結びつくようなことは検討していく必要があると思う。</p> <p>健康長寿は幸せであるが、1週間に1回、月に1回でも社会貢献出来たらもっと幸せなことである。そのような地域をつくること、それが真に10万人都市がやれることだと思っている。昔はお母さんたちが地域を支える大きな担い手としていろんなことをやってもらっていたが、現在は働きに出ている時代にあっては、シニア世代の活躍が求められていると思う。</p>
2-2	<p>■東町も道悦島のようなインセンティブをつけていければいいと考えている。</p>	<p>●東町独自の仕組みが出来れば、それは先進的なモデル事業となると思うし、東町なら出来ると思っているので、行政もまちづくり支援事業交付金の活用や、ガソリン代の支給など、地域の課題解決のことであれば相談や補助が出来る。（窓口は協働推進課）</p> <p>予算も本当に必要なものであれば補正予算で措置してスピード感を持って対応していく方針である。</p>

2-3	<p>■図書館の利用者であるが、駐車券の認証機が図書館がなく、1階のコープまで下りて、また駐車場に戻るのには膝が悪いので辛い。認証機を図書館へ付けて欲しいと聞いた所、駐車場は民間だから難しいと言われた。認証機自体は、1万～2万円程のものだと思われるので何とかならないか。</p>	<p>●駐車場のスペースが少なく、御不便をお掛けしている。隣接している立体駐車場は、1階に入っているCOOP（コープ）さんや入居している方々の契約駐車場となっており、島田図書館来館者が利用できる台数が限られている。このため、島田信用金庫の東側の駐車場をお借りし、1時間の無料駐車券を出している。1時間ではゆっくり本が読めないといった声はお聞きしており、使いづらいことは充分理解している。</p> <p>認証機は、駐車場経営者の島田ショッピングビル株式会社が設定しているもので、対応（市でおくことが出来れば）が可能かどうか担当（島田図書館）に聞く。【検討事項2】</p>
3	<p>■市民病院の建設について、5月21日の議会報告会で、市長や当局と議会との情報の共有が出来てはいないのかと感じた。杭を打つことで、その振動は周辺建物等に影響があるのでは、という質問に対して出席した議員が回答しなかった。</p>	<p>●軟弱地盤で道路に亀裂が入る、治療に影響があるなどは、騒音や振動などには配慮するのは当然で、今の技術なので有り得ない。</p> <p>議会で資料も提出し、回答もしているが議員の皆様もいろいろなお考えをお持ちであって、中々御理解をいただけないことも事実。これからも理解をいただくよう丁寧に説明をしていく。</p>
4	<p>■避難所は六合東小が指定されているが、児童数も増えていて、避難スペースとか狭くなり、難しいのではないかな。</p> <p>この東町公会堂も避難所に認定出来るのかな。</p>	<p>●ここ東町公会堂は東町地域の災害対策本部となるであろうと思われる。熊本や東日本大震災もそうであるが避難所として認定する、しないではなく、避難所指定していない様々な場所に避難している。（熊本などの事例）そのような場所全てに救援物資を届けられるかが今後の課題。</p> <p>避難所とは、家が壊れて住めないとか、二次被害が想定されて住み続けると危険だという方々が避難してくる所。地域住民全てが行くところではない。</p> <p>1つの体育館で収容出来るのは200人位が限度。災害時でも自分の家で過ごすことが一番良いと思う。そのために食料の備蓄、耐震化などの対策を皆さんにお願いしたい。</p> <p>六合東小以外の避難所に、行政から届けられた食料や物資をどのように分配していくかというシステム作りが東町地域の災害対策本部の皆さんで考えていただくことが必要。（市の救援物資集積の拠点はローズアリーナ、</p>

		<p>ここから各避難所へ物資を届けるのは行政の役目)</p> <p>防災は決まっていないことをどう融通利かせて、助け合って取り組める地域づくり（災害弱者対策を含め）が重要。</p>
5-1	<p>■この地区の9割が非農家とあったが、空港に2分早くなるという話があった。そんなことよりも木屋島公園の名称やどこに作るのさえも知らないし、トイレが設置されることも聞いていない。説明を市に求めたら、市では説明をする機会（地域全体に対して）はないと言われた。幹線道路沿いの公園が出来て、トイレが設置されれば、地域以外の方も利用されると思うし、トイレの管理のことも含めて今後どうなるのかという説明が近隣のお宅も聞いていない。情報が非農家に入っていないので何とかしてほしい。</p>	<p>●市の対応について、説明が足りなかったことはお詫び申し上げます。木屋島公園は、防災上の拠点となる公園整備として考えており、皆様にもお話がいないとしたら大変申し訳ない話である。</p> <p>※トイレの管理の質問については回答なし【検討事項3】</p>
5-2	<p>■この地区は用水、排水路が一緒になっている。家庭の雑排水が田んぼに入ってしまう。今後、下水道整備はどうなるのか教えてほしい。</p>	<p>●都市下水路は、現在市内の中心市街地で進めている。しかし、過去において、下水道整備よりは合併浄化槽の整備をやっていくという方針となったと考えている。国の補助金も下水道の新設よりも改修などの予算の確保に努めている。現在、東町地区への下水道整備の計画はない。</p>
5-3	<p>■わが家は一層式の浄化槽なのでどうすればよいか。</p>	<p>●是非、合併浄化槽への切替えの補助金を活用して欲しい。</p>
6	<p>■冬季には河川の水量は減る。水量を増やすと水路の老朽化などの問題で田んぼに水が入ってしまい、農家から田んぼを起こせないと苦情が出る。水路の改修を検討してもらいたい。</p>	<p>●水が流れない時期に水を流してほしいとの声や要望をいただいている。一般の方々と農家の皆さんとの関係があって、難しい問題であるが担当部署（都市基盤部）には伝えておくので御要望などがあれば担当に言ってほしい。</p>
7-1	<p>■広報について、同報無線が聞きやすくなった。</p>	<p>●同報無線については、現在デジタル化を進めている。防災情報のメール配信も取り組んでいるので、是非登録をお願いしたい。また、同報無線の内容を聞きたい場合には、放送から24時間以内であれば電話で「37-5600」聞くことが出来る。</p> <p>（補足説明）</p> <p>防災情報配信メールの登録方法は、市のホームページ（防災情報配信メールで検索）に掲載されています。</p>

7-2	<p>■100人会議の進捗状況についてお聞かせ願いたい。</p>	<p>●第1回目は107人の参加者で2年間行った。第2回目は100人に達しなかったが、現在は自主活動を行っているところ。全体会（年2～3回）は私も参加させていただく。市民が動き出すことを目標として、若い人を育てることも目的としている。20年後も動ける人（若い人）に関心を持っていただきたい。また、提案だけが目的ではない。年配の方が若い人を育ててもらうことが大きな目的でもある。</p>
8	<p>■原発事故のことで、再稼働は反対という姿勢であるが、避難計画をつくり説明会を予定されているが、福島の被災された方のお話を聞ける機会を行政で設けて欲しい。</p>	<p>●第1回目の原子力災害の広域避難計画の説明会を先日初倉地域で実施した。これから地区ごとに説明会を行っていきますので是非参加をお願いしたい。</p> <p>私も実際に何回か福島に行っているが、熊本地震でも救援隊（医療チーム）や視察団を派遣しているので、報告会といった形で今後情報提供はしていきたい。</p> <p>7月8日に、UPZ 圏内の地元4市以外の5市2町は、2年半かけて、中電、県、7市町（島田市、焼津市、藤枝市、袋井市、磐田市、吉田町、森町）で安全協定を締結した。</p> <p>事前了解については、地元4市の協定書には原発再稼働の事前了解は載っていない。地元4市に準じる安全協定を結びたいということで、事前了解の規定に関する調整（それぞれの首長の思い）が大変難しかった。ネジ1本、新たなタンク1つ置くのも事前了解を必要としているので、再稼働も事前了解無くして出来ないという解釈。</p> <p>立入調査を地元4市に同行することが出来る。また地元4市からの措置の要求に対して、中電は速やかに7市町にもその内容を情報提供することになっている。</p> <p>今の浜岡原発の状況を考えたとき再稼働出来るとは思っていない。</p> <p>万が一、浜岡原発が単独で事故を起こした場合は、島田市は伊豆半島の15の市町に避難することになっている。また、3.11型の津波で被害を受けるような場合には、東京都に逃げることになっている。バスでの避難に</p>

		<p>なるが、スクリーニング（放射線量の調査）が必要であって調査をしなければ避難所に入ることは出来ない。県の計画では、地元4市から順番に避難するとなっているが、それまで島田市民に待っていなさいとは言っていないので非常に難しい問題がある。</p> <p>市民の命と安全が担保出来ない中での再稼動は認められないという方針に変わりはない。</p> <p>直近に起きた災害に市民が引きずられてしまうが、島田はどういう災害が起こるのかということが一番に市民の皆様には知っておいていただきたいと思っている。（島田は津波も来ないし、地盤も比較的良い、島田市全体の7割が震度6強、古い住宅密集地は火災が懸念）</p> <p>地震災害はめったに来ないが、水害は可能性が高い。市の避難情報などよりも、地域の状況（濁った水、音などに応じて）地域で避難出来る地域力を上げてもらいたいと思う。</p> <p>避難勧告は、避難所の開設準備のために必要な時間も考えて少なくとも3時間前に判断してからでないと出せない。市の基本方針は、危険が予想される場合は、たとえ空振りでも出していきたいと思っている。今まではそれほど避難勧告や避難指示は出なかったと思われるが、今はどんどん出して行こうという方向性で行っている。</p>
9	<p>■今の市長さんは、100人会議、車座トークなど市民の意見を聞いていただいている。今後もよろしくお願いいたします。</p> <p>東町の景観クラブの会長を務めているが、大津谷川、栃山川の堤防の草刈を年数回やっているが、市境までやり残しなどせずにしっかりやっていきたい。ついては、大津谷川の右岸の藤枝との境はどこに聞けばよいか。</p>	<p>●いつも御苦勞されていることに大変感謝している。境の件は、田原（公民館長）が確認して後日お答えする。【検討事項4】</p>

※ 回答は全て市長から回答した。

④当日の様子



⑤検討事項に対する対応（報告）

質疑応答番号 検討事項番号	検討内容（市長の発言）	市からの回答（対応状況）
1-1 検討事項 1	■質問に対して回答なし	●田んぼ側に設置している水路は、工場製品を使用しております。製品の機能上（重量関係等）から御指摘の形状となっており隣接の農地（田んぼ）の方には本当に御迷惑をお掛けしております。他の事業の設置箇所においても同様の問題がでておりますが、凹凸をなくす方法がなく、隣接する皆様に管理をお願いしているのが現状です。対策方法につきましては、今後引き続き検討してまいりますので、御理解を頂きたいと思っております。
2-3 検討事項 2	■認証機は、駐車場経営者の島田ショッピングビル株式会社が設定しているもので、対応（市でおくことが出来れば）が可能かどうか担当（島田図書館）に聞く。	●おび・りあ駐車場の認証機による30分無料は、駐車場経営者の島田ショッピングビル株式会社が設定しているもので、認証機も同社が設置しています。同社と2階への設置について交渉しましたが、1階商業施設への配慮のため、設置することは出来ません

		でした。
5-1 検討事項 3	■トイレの管理の質問については回答なし	<p>●現在実施している東町御請線を中心とする整備は、一定の区域を指定した「東町地区」都市再生整備計画により行っています。その計画の中には、御指摘の「(仮)木屋島公園」も新設する計画となっています。</p> <p>トイレの管理については、現在島田市が管理している公園と同じように委託業者による管理を予定しております。</p> <p>この東町地区の整備では、事業着手前から地元対策委員を選出し協議検討を行ってきていますが、市の対応が行き届かず地域の皆様に説明不足となっておりましてお詫び申し上げます。今後は、地元対策委員会へ説明すると共に、「事業の進捗等のお知らせ版」等を作成して皆様に報告出来る様に考えてまいります。</p>
9 検討事項 4	■境の件は、田原（公民館長）が確認して後日お答えする。	●9月5日（月）に質問者（東町景観クラブ役員2名）と土木管理課職員、田原（公民館長）が現地で境を確認しました。